

[調査報告]

# 島根県における幼児の言語調査： 益田市から出雲市までの10地点の 調査報告

高橋純<sup>1</sup> 山下由紀恵<sup>2</sup>

1. 島根県立大学短期大学部総合文化学科

2. 島根県立大学短期大学部保育学科

[INVESTIGATION REPORT]

## A Survey of Preschool Children's Language in Shimane Prefecture: A Report on 10 Surveys Collected from Masuda to Izumo

Jun TAKAHASHI<sup>1</sup>, Yuki YAMASHITA<sup>2</sup>

1. Department of Arts and Sciences, The University of Shimane Junior College

2. Department of Nursery Education, The University of Shimane Junior College

# しまね 地域共生センター 紀要

*Bulletin of Shimane Center for Enrichment through Community,  
The University of Shimane Junior College*

*vol.*

# 2

September  
2015

[調査報告]

# 島根県における 幼児の言語調査: 益田市から出雲市 までの10地点の 調査報告

高橋純<sup>1</sup> 山下由紀恵<sup>2</sup>

1. 島根県立大学短期大学部総合文化学科  
2. 島根県立大学短期大学部保育学科

## キーワード

島根県  
方言  
幼児  
出雲地方  
石見地方

[INVESTIGATION REPORT]

## A Survey of Preschool Children's Language in Shimane Prefecture: A Report on 10 Surveys Collected from Masuda to Izumo

Jun TAKAHASHI<sup>1</sup>, Yuki YAMASHITA<sup>2</sup>

1. Department of Arts and Sciences, The University of  
Shimane Junior College  
2. Department of Nursery Education, The University of  
Shimane Junior College

## Keywords

Shimane Prefecture  
dialect  
preschool children  
Izumo area  
Iwami area

## 1 はじめに

本調査は、島根県立大学短期大学部松江キャンパス学術教育研究特別助成金により、平成24(2012)年度から26(2014)年度まで、島根県の益田市から出雲市にかけて、10カ所の保育園および保育所に協力していただき、行った。

そこで、本稿は、3年間の調査を概観し、どのような成果が得られたのかを、簡単に示すことを目的としている。

本調査の意義に関しては、高橋・山下(2013)また山下・高橋(2013)で詳しく述べているが、調査を進めるにあたり、若干の変更点もあり、その変更の理由を述べながら、第2節で調査の意義を概括する。そして、3節で、実施した調査の協力者である幼児たちについて略記し、調査がどのような対象についてなされたかを明確にする。4節では、調査で採集された資料をもとに見いだされた事実を記述、最後に今後の研究の方針と課題を述べる。

## 2 調査の意義

本調査は、島根県の石見地域の特に大田市の方言調査も念頭におきながら、この地域の幼児たちがどのような方言形式を維持し、実際に話しているのかを調査することを目的に開始された。大田市は、石見方言に分類されることばを話す地域である。しかし、出雲市と接し、生活範囲も出雲市方面へと向いており、出雲方言的な表現も観察される。そこで、このような地域で次世代を担う幼児たちは、どのような形式のことばを育てているのかを見ることを目的とした。

そして、大田市の言語形式を明確化するために、西は同じ石見方言とされている益田市から東は大田市を越えて出雲市までの範囲で調査を行った。益田市から出雲市までをほぼ20kmごとに区切り、その地点の保育園/所に調査を依頼し、行わせていただいた。

このような石見地域内を細かく区切って調査す

表1 調査対象としての保育園/所

No.	名称	所在地	園児数	男子	女子	平均年月齢
1	豊川保育園	益田市	8	5	3	6歳2ヶ月
2	岡見保育所	浜田市	5	3	2	6歳0ヶ月
3	周布保育園	浜田市	9	5	4	6歳0ヶ月
4	こくふ保育園	浜田市	20	12	8	6歳6ヶ月
5	渡津保育所	江津市	16	8	8	6歳0ヶ月
6	温泉津保育所	大田市	11	6	5	6歳3ヶ月
7	サンチャイルド長久さわらび園	大田市	18	8	10	6歳2ヶ月
8	たき保育園	出雲市	12	4	8	6歳4ヶ月
9	おおつか保育園	出雲市	20	9	11	6歳1ヶ月
10	わにぶち保育所	出雲市	9	4	5	6歳4ヶ月
		全体	128	60	68	6歳3ヶ月

る例は少なく、幼児の言語という年齢的に限定されていても、方言調査として非常に意義深いものである。それに加え、幼児の言語を調べるということは、次世代の言語がどのように変わっていくのかという変化の状況をタイムリーに観察できるということで、社会言語学的にも世代間・地域間での言語変質の研究にも寄与できると考えられる。

### 3 調査対象について

ご協力いただいた10カ所の保育園/所を表1として示す。調査協力者としての園児数は、計128名(男60名・女68名)で、調査時の平均年月齢は、6歳3ヶ月であった。

調査を行うに際しては、文書(学長名)による依頼書に保育園・保育所から許可をいただき、保育園・保育所の判断で行える範囲の内容で調査を行わせていただいた。

### 4 保育園/所の調査報告

実際の個々の保育園/所の調査結果を記す前に、本稿における記述方針について述べておく。

本稿では、幼児の言語ということで、言語習得においてまだ不完全な年齢を対象としており、必ずしも標準的な語形を使いこなしているわけでは

ないので、共通語における標準的な使用との差をもって方言形とすることは難しいと思われる。そこで、紙幅の関係もあるので、従来から観察されている島根県のことばとして特徴的なものが現れているところを記述することとする。

次の項目に焦点を絞って記述を進める。記述の順序は、多くの要素を内包することができるものから始め、例文の数を節約することとする。

- (1)理由を表す接続形式
- (2)断定を表す文末詞
- (3)動詞の否定
- (4)有情の存在
- (5)テイル形に相当するアスペクト形式

また、特徴的な形式が観察された場合には、随時記述することとする。

では、以下に保育園/所ごとの調査結果を記述していく。

#### 1) 豊川保育所

豊川保育所は、島根県益田市の市街地よりやや外れた場所に位置している。8名の園児に協力してもらった。調査日は、2014年9月29日であった。

##### (1)理由を表す接続形式

この地域では、理由を表す接続形式としては、

ケーの使用が優勢であった。また数例ではあるが、[4] [5]のようにケンという形式も聞かれた。共通語と同形のカラも散見された。

- [1] 事故してね、ガラスとか落ちとるけえ、踏んだら痛いけえ、くつとかでも。
- [2] 結んどるけえ、じゃけえ、かわとった、目も
- [3] もうね、あれしかご飯がないけえ
- [4] 犬においしそうなやつを食べられたけん
- [5] だけん、ここじゃ見えんよ

### (2) 断定を表す文末詞

断定詞と見られるものは、ジャがほとんどで、ダが数回聞かれた。またヤも2例見られた。そして、このジャは、ジャロもしくはジャロウという推量の形式でも用いられていた。

- [6] あっ、ケーキじゃ
- [7] ああ、大丈夫って言っとるんじゃろ
- [8] さっき止まったけえ、もう行くんじゃろ
- [9] お父さんがここにおるけえねえ、ひっくり返った、バチャンってなったらね、魚とか逃げたんや
- [10] すぐやけえさ、ほら

### (3) 動詞の否定

動詞の否定に関してはンが優勢であるが、ナイも少なからず用いられていた。そして、この際にはケーなどの方言形と同時に用いられていた。[14]がそうである。[13]は可能の表現であるが、五段動詞がレルを伴って現れている例である。基本的には、五段動詞を可能の意味で用いる際には、可能形が使用されている。

- [11] この黄色組の二人しか行かんのんかね
- [12] おばちゃんもわからんのん
- [13] 手つながれん
- [14] まだぜんぜん運べないけえねえ
- [15] あんまり覚えてない

### (4) 有情の存在

基本的には、西日本に特徴的なオルが用いられている。存在を表現する際にイルは見られなかつ

た。

- [16] クジラがおった

### (5) テイル形に相当するアスペクト形式

有情の存在を表す動詞と呼応してテオル系が使用されている。しかし、ヨル系の発話は見られなかった。テオル系の実際の発音形としては、トルのみで、トーやチョルなどは観察されなかった。

- [17] 魚とっとる
- [18] 走とったらバンってぶつかってね
- [19] 一番お山に住んどる人

しかし、方言形を通常使うような園児でも、共通語系を混ぜていることが普通であった。

[20] [21]は、[19]を発話している園児の例である。また、[21]は、[19]を発話する直前に発せられた文である。この文の前に「住んでいる」という句をこの場では誰からも発せられておらず、誰かの発話につられたというものではない。

- [20] 転んでる絵
- [21] ちょっと山に住んでる人
- [22] あまり覚えてない
- [23] 警察が泣いている

## 2) 岡見保育所

岡見保育所は、浜田市三隅町という市街地から西に外れた場所にある保育所である。ここでは、5名の園児に協力してもらった。調査日は、2014年9月29日であった。

全体としては、断定詞のジャがなくなり、ダになり、理由を表す接続形にケーだけでなくケンも現れている。アスペクトの形式は、トルが優勢である。

### (1) 理由を表す接続形式

ケンが多く見られるようになったが、ケーが優勢であると感じられた。同一の園児から交互に聞かれることもあった。また、[30]のようにカラという形式も現れることがあった。

- [24] 何か危ないかも知れんけん
- [25] バスに乗りたけえねえ

- [26] 風邪というか、○○ちゃん咳ぐらい出るけえ、  
入らんくて  
[27] あのね、そのときね、中耳炎になったけえ、  
プールに入れんかった  
[28] あのね、1個の、真ん中の間を何かで挟む  
じゃん、あっちに行くけん  
[29] 置いておかれたというか、ここに早くおらん  
かったけんね、あのね  
[30] 怖いから

## (2) 断定を表す文末詞

断定の文末詞としては、この地域ではすでにダが優勢になっており、ジャの使用は、[36]の1回のみ認められた。またヤも観察された。

- [31] 何か紙芝居だ  
[32] 上におったんだ  
[33] オバケだった  
[34] (怖い話が)好きだけど、話してくれんのんだ  
[35] だけえね、あのね、どこかわからんけんね、  
とんとん探してもおらんけんね、きゃあって  
逃げてるんだ  
[36] ひもじゃろ  
[37] あとこれもやん

## (3) 動詞の否定

基本的には、否定はンが使用されている。しかし、たまに[42]のように質問者に呼応してや、[43]台詞として、ナイが用いられることがあった。

- [38] 話が聞こえん  
[39] でっか過ぎて運べんのんよ  
[40] 包帯は巻かんかったけど、テープ貼ったことあるよ  
[41] 止まるときと止まらんときがある  
[42] (「病院に行っているの」の問いに対して)行っ  
てないよ  
[43] (絵の中のお母さんの台詞として)「待って、  
一人で行かないで」って

## (4) 有情の存在

これもオルが通常用いられているが、質問者に呼応する際にイルが発話される例があった。

- [44] (「歩いてくる子もいる」という発話に対して)  
あっ、おるよ  
[45] (「まずアリさんがいました」という発話に対して)まず最初にアリさんがいて、見つけたんよ。

## (5) テイル形に相当するアスペクト形式

テオル系が優勢で、ヨル系は見られなかった。音形としては、トルとして現れ、トーが1回[50]で観察された。共通語と同形のテイル系が否定形でテナイという形で1回現れたが、これは質問者と同じ形を用いて返答したものであった。

- [46] これは電話しとる  
[47] 見とったけえ  
[48] びっくりしとる  
[49] バスに乗りおくれとるけえね  
[50] びちって運転しようときにね、ガラスがバチンってなって・・・

## 3) 周布保育所

周布保育所は、浜田市内の西側の郊外に位置している保育所である。

この保育所では、9名の園児に協力してもらい、調査日は、2014年10月10日であった。

## (1) 理由を表す接続形式

ケンの使用が優勢であった。しかし、ケーの使用も特定の園児から聞かれた。また、カラという共通語形の接続形式の使用も多く見られた。

- [51] 待ってって言いよるけん  
[52] ここから見とったけん  
[53] バスに遅れるけえ  
[54] 取れんから  
[55] バスに乗りたから、1人で  
[56] 危ないからね、あのさ、あのね、あのね、このガラスとか刺さるから



## (2)断定を表す文末詞

ここではジャは[57]の1回だけ一人の園児から発せられた以外、ダであった。ダケンという接続詞も現れた。

- [57]うわあ、おにぎりじゃ
- [58]えっと何だっけ
- [59]これが全部だっけ
- [60]食べたけんね、だけん食べた

## (3)動詞の否定

動詞の否定は、基本的には、ンをういているが、絵の登場人物の台詞として発した場合などはナイが比較的多く現れた。また、数回質問者の問いに答える形で、ナイを発話していた。

- [61]今は近づかんほうがいいですよって(「[67]乗らない」の子と同一人物の発話)
- [62]届かんかったけん
- [63]フライパンで作らん
- [64]食べられんくて
- [65]ここで待つかんと、バスが来んってことになつとるとこ
- [66]行っちゃいけないよって
- [67](「このあたりでも、みんなバスに乗る?」という問いに対して)乗らない
- [68](「何という車、これ?」に対して)知らない

## (4)有情の存在

存在を表現する動詞として単独でイルは現れず、オルのみが使用されたいた。

- [69]でっかい病院あるじゃん、赤ちゃんがおるとこ
- [70]ここにおるよ

## (5)テイル形に相当するアスペクト形式

基本的には、テオル系のトルを使用しているが、しばしばテルという形で、テイル系が観察され、また[74][75]のようにテナイという形でも数回現れていた。ヨル系も[51][73]の2例が観察された。

- [71]お父さんがニュース見とる
- [72]○○(地名)でも何か起きとった

- [73]きゃあって言いよる
- [74]遊んでない
- [75]巻いてなかった

## 4)こふ保育園

こふ保育園は、浜田市の比較的中心地に近い場所に位置する保育園である。幼児の人数も比較的多く、協力してくれた園児も20名であった。調査日は、2014年3月4日であった。

### (1)理由を表す接続形式

ケンが優勢で、ケーがしばしば現れるという状態であった。印象としては、周布保育園よりもケーが多く現れた。共通語と同形のカラ[79]が少なからず現れた。そして、周布保育園との大きな違いは、テカラという共通語では、事態の推移を表現する形式を理由の表現としても使用しているところである。[80][81]がその例である。

- [76]○○小学校は40人おるけん
- [77]○○(小学校の名称)は20人だけん
- [78]だって、前おじいちゃんが言っとったけえ
- [79]携帯で鳴るけえ、だけんね、忙しすぎるからね
- [80]補助輪はずしてね、練習しとったとき、こけてからね、包帯巻いた。
- [81](船がひっくり返った理由を説明している)あのね、曲がとってから、でから、ぼっちゃあんって。

### (2)断定を表す文末詞

ダのみであった。ジャは、この調査では聞けなかった。

- [82]ああ、アリだ
- [83]進化したんだよ

### (3)動詞の否定

基本的には、ンで動詞を否定しているが、しばしばナイも現れた。ちなみに、[87]は、可能の否定を表している。

- [84]ええ、わからんの

- [85]お昼寝はもうせん  
 [86]それで見えなかった  
 [87]プールね、行かれん人はね、えっとね  
 [88]（質問者の「みんな知らない、9号線とかは」に答えて）知らない  
 [89]でもね、ぶしゅうって空気が抜けてったかもしれないよ  
 [90]（絵の中の人物の発話として）けんかしないで  
 [91]（絵の中の警察官の発話として）ここを通らないでください

#### (4)有情の存在

オルが優勢で、存在を意味するイルは観察されなかった。

- [92]泳ぐの嫌いな人がおる

#### (5)テイル形に相当するアスペクト形式

テオル系を用いるのが基本であるが、否定に関しては、テナイという形が比較的多く観察された。ヨル系は現れなかった。

- [93]鬼ばばになっとる  
 [94]パン屋さんに行ってからね、ほいでからね、横にね、車がおってからね、ほいでね、車が来てないけれどね、また車が見えてないのにね  
 [95]何か指してる  
 [96]呼び捨てしてる  
 [97]あとこんなに目なんかメイクしてないでしょ  
 [98]ビート板持ってないけん

### 5) 渡津保育所

渡津保育所は、江津市にあり、市内の中心地に比較的近い場所に位置している。協力してくれた園児は、16名であった。調査日は、2012年10月19日である。

#### (1)理由を表す接続形式

方言形としては、ケーが現れ、ケンが独立した接続詞としダケンという形で数回現れた。そして、

[101-103]のように共通語形と同じカラも非常に多く現れていた。また、こくふ保育園と同様にデカラという形[104]で理由を表現することもあった。

- [99]それででかい魚だったけえ、だけえぼちゃんって落ちた。  
 [100]お魚釣っとるときに、穴がぼんとあいたから、だから、ん。この人がこっち向いとるけえさ  
 [101]紙を切ってたから  
 [102]お母さんの足、こうやとつたらつまずいたから、だから病院に行った。  
 [103]〇〇ちゃんもね、熱が出てからね、休んどるんよ  
 [104]おいしそうみたいで、でから全部、ガブッ

#### (2)断定を表す文末詞

- ダが用いられている。  
 [105]ここ江津だっけ  
 [106]ちゃんと走とつたら、ちょうどここだったんよ

#### (3)動詞の否定

ンが優勢ではあるが、ナイも多く現れた。しかし、ナイはテナイという形でよく現れた。一段動詞にレが挿入されたレンという[108]のような否定の形も現れた。

- [107]死なんよ  
 [108]絵がね、これね、かけれんかったけえね  
 [109]この人が通とつって、よくわからん  
 [110]びっくりせんでいいじゃん  
 [111]（友達の頭で紙芝居が見えない際）見えないよ

#### (4)有情の存在

オルが優勢であった。たまにイル[116]が現れることもあった。

- [112]人おらんじゃん  
 [113]（男が）上、おるんで  
 [114]この中におった人、ここにおるじゃん  
 [115]お芋掘りやったらね、幼虫おったよ

[116] アリがいるじゃないか

#### (5) テイル形に相当するアスペクト形式

テオル系が優勢で、発音形では、トルという形が通常で、トーが一度現れた[118]。しかし、否定の際には、[121]のようなテナイが多く、トランという形はほとんど観察されなかった。

[117] この人見とるんで

[118] 2回目はね、みんな知っとうと思うけどね

[119] ご飯炊いてるんだよ。

[120] 見ているだけだよ。見とるだけだよ、関係ないよ

[121] 覚えてないの

その他の用法として、1度、「見てみんさい」という命令形が観察された。

#### 6) 温泉津保育所

温泉津保育所は、大田市にあり、江津市との境界で、のどかな地域に位置している。協力してくれた園児の数は、11名であった。この保育所での調査は、共通語形が目立っていた。調査日は、2013年2月19日。

#### (1) 理由を表現する接続詞

ケンとケーは数えるくらいしか現れず、ケンが5回、ケーが1回だけ観察された。それ以外は、共通語と同形のカラが用いられていた。ここでは、こくふ保育園や渡津保育所でみられた、デカラという形はみられなかった。

[122] 僕、○○(地名)にいるけん、あんまり乗ったことはないかな

[123] 大きいけん、運べない

[124] よそ見しとるけん

[125] でも子供3人だけけん、力いるで、結構

[126] 舌なめずりしとるけん

[127] ([124]のすぐ後に別の園児が)大きいけん、運べない

[128] 虫歯になったから

[129] プリンが、クレーン車で海んここでプリン

落としたから

#### (2) 断定を表す文末詞

ダが通常であるが、1例[133]だけ、ヤも現れた。

[130] アリちゃんだ

[131] だけんね、2時間か3時間くらい待ったことある。

[132] 包帯の下見たらね穴あいとってね、それ、透明人間だったで

[133] そりゃ、先生やもん

#### (3) 動詞の否定

ンもナイも、多く現れた。印象としては、短く馴染みのある語にはンを、文として長く、思考したのち発せられたものはナイが現れたように思われた。

[138] はら抜き表現である。

[134] 運べんかった

[135] とがとるところがさ、見えんくてさ・・・

[136] わからない

[137] この子には誰も気づいてない

[138] 事故でさ、通り抜けられない

#### (4) 有情の存在

オルであった。イルは[122]に見られた。

[139] このどこかにお父さんがおる

[140] これ、女の人がおらんうちに、この人・・・

#### (5) テイル形に相当するアスペクト形式

テオル系の使用も多かったが、テイル系の使用も多かった。テオル系は、トルという形で現れており、その他の形は観察できなかった。テイル系は、テルという形もしくはテナイという形であった。トランという形は観察できなかった。

[141] 今住んどるね、おじいちゃんとおばあちゃんのところ

[142] 落ちて、で、引っ張ってる

[143] この子が持ってる縄跳び

[144] お母さん、お化け屋敷で逃げようよ、逃げようよって言ったたら、笑ってた



## 7) サンチャイルド長久さわらび園

この保育園は、大田市の比較的中心地に近い場所に位置している。調査に協力してくれた園児は、18名で、調査日は、2012年12月7日であった。

この保育所では、今まで見てきた島根県の西部地区では観察されなかった形式も現れ始めた。

### (1)理由を表す接続形式

方言形としては、ケンが優勢で、ケー[148]は、接続形式の部分を強く発音した時に1度現れた。共通語形のカラが非常に多く観察された[149-150]。

[145] 僕、手術したけんな

[146] ほら、津波が来たけん

[147] 船がちょっと何かいがんだ[ゆがんだ]けん、  
こうバキってなった

[148] 走っとったけえ

[149] この人はこっちに体重かけたから、ぐりんっ  
て

[150] 犬が食べようとして、それで食べたから泣  
いた

### (2)断定を表す文末詞

断定の文末詞は、ダであった。

[151] 女の人も悪い人だ

[152] 次、僕からだよ

[153] 違うよ、怖がってるけんだよ

### (3)動詞の否定

動詞の否定には、ンを使うが、ナイも多く用いられていた。

[154] 英語でないといけんよ

[155] いけんよ、そんなことは言わんよ

[156] 見えない、見にくいし

[157] この子供がケガして遊べない

### (4)有情の存在

基本的にはオルであるが、1回だけイル[160]が聞かれた。

[158] アリさん、おる

[159] 重たい魚がおったから、こっちに倒れた

[160] 犬がいる

### (5)テイル形に相当するアスペクト形式

テオル系も用いているが、テイル系のテルも多く観察された。テオル系では、トルという形が用いられていた。[162]は、同時に2人の園児が発話したものである。

[161] これは溺れて、助けを呼んどる

[162] (質問者の「これはここで何しているの」  
に答えて)園児1:なめてる 園児2:味見  
しとる

### (6)その他の形式

この保育園では、渡津保育所(江津市)で観察されたデ(「～だよ」という終助詞が現れていた。

[163] こう言っとるんで

[164] ランニングだで

[165] 食べてしまったんで

また、それと同時に、出雲地域で聞かれるダガ(「～だよ」)も観察された。

[166] 崩れたんだが

[167] ベロっとなめたんだが

それに加えて、「～しなきゃ」という意味のナも現れた:

[168] ここに並ばな

[169] ちょっと、全部言わな

西部的な特徴とされる可能の否定としての以下の表現もあった。

[170] 言われない

## 8) たき保育園

たき保育園は、出雲市の西にあり、大田市に比較的近い場所に位置している。基本的には、出雲方言に属する地域である。協力してくれた園児の数は、12名で、調査日は、2014年3月4日であった。

共通語形を多く使っているが、方言形は出雲方言の特徴を示していた。

#### (1)理由を表す接続形式

方言形では、ケンが用いられることが多かった。共通語形のカラも多く聞かれた。

[171] 重くてちぎれるけんね、これでやったらね、  
犬が来てね

[172] あのガラスとかが落ちて足に刺さるから

#### (2)断定を表す文末詞

断定の文末詞は、ダであった。

[173] お風呂の絵だ

[174] 夜の月だ

[175] ここから食べるんだった

#### (3)動詞の否定

発話量が少なかったため、否定があまり発話されなかったが、ンが使用される際は、比較的短い発話において、質問に答えたり、長い発話をする際には、ナイが使用されていた。しかし、ナイに関しては、テナイという形がほとんどだった。

[176] ○○先生、できなかった

[177] バスで行かんと・・・

[178] 知らん/わからん

[179] 知らない/わかんない

#### (4)有情の存在

オルが用いられていた。ちなみに、ここに挙げる例は、特徴的なダの使用法が含まれている。

[180] 誰もおらんだったよ

#### (5)テイル形に相当するアスペクト形式

基本的には、テオル系を使用しており、トル形が通常で、トー[181]という形やチョッタ[182]という形が各1例ずつ観察された。

[180] お魚釣りしとってね

[181] 仕事しうところからくるんでしょ

[182] みんなが大笑いやっちゃったが

[183] ボールで浮かんでる

[184] ご飯を炊いてる

[185] 前にも行ってない

[186] 私、食べてない

#### (6)その他の形式

ガ/ガンという文末詞が現れている。これも現代の出雲方言に特徴的なものである。また、[189]のように一段動詞の否定にラが挿入される形式も現れた。

[187] もう1回寝るときに一緒にトイレに行きたく  
なったが

[188] 何かお菓子食べたが

[189] でも先生はできらんかった

#### 9)おおつか保育園

おおつか保育園は、出雲市の住宅街に近く、比較的園児数の多い保育園である。調査に協力してくれた園児は、20名であった。調査日は、2014年11月28日。

#### (1)理由を表す接続形式

ケンが優勢で、カラ形はあまり観察されなかった。

[193] のようにテカラという形も1回現れた。

[190] バスに乗りたいけんじゃない

[191] おじいちゃんちのブランコ2つあるけん、け  
んかにならんよ

[192] それをぜんぶ食べて、だけん泣いとる

[193] バスが来てからね、早く逃げよう

[194] だってね、何かかね、ここからドカンって  
窓に飛んでくるから

#### (2)断定を表す文末詞

断定の文末詞はダであった。

[195] 保育園の先生だよ

[196] それは病院だわね

[197] ああ、リンゴさんだ

#### (3)動詞の否定

動詞の否定はンが基本である。一段動詞には、共通語と同様、[201] [202] のようにら抜きも現れ

ている。また、一段動詞の未然形にラが挿入されてランという形[203]も現れた。

- [198] もう1人おらんよ
- [199] 慌てずにね、走らんでもいい
- [200] 手が伸ばせんくて
- [201] 犬が来ても食べれんよ
- [202] 持ち上げようとしても、持ち上げれん
- [203] 重たいけん、すぐには行けらんじゃん

#### (4)有情の存在

ほとんどはオルが用いられているが、イルが数カ所観察された。

- [204] 車に運転しとった人はね、病院におるんじゃない
- [205] 女の子がこっちおってね
- [206] おまわりさん1人しかおらんけんね
- [207] 工事のアリさんもいる

#### (5)テイル形に相当するアスペクト形式

テオル系で、トル形が多く用いられているが、テイル系のテル・テナイも多く観察された。しかし、この保育所では、トランも観察された。

また特徴的な形式としてトライという尊敬語形由来の形式もアスペクト形式として現れている。

- [208] みんなで遊んどる
- [209] 震えとらんよ
- [210] 洗濯もんしとらいでしょう
- [211] ボール遊びしとらいた
- [212] 一緒に来とらい
- [213] こうやって引張とらい
- [214] だってスカート履いているもん
- [215] 空気が入っているボール
- [216] スイミングとかで、泳いでる
- [217] カツラかぶってたんじゃない
- [218] たくさん、戦争してるんだわね
- [219] ○○先生とかはね、スカート履いてないが
- [220] 釣ってないけんだよ
- [221] 食べにはいってない

#### 10)わにぶち保育所

わにぶち保育所は、出雲市内の旧平田市の地域で、海沿いののどかな地域に位置している。園児の数も多くなく、調査に協力してくれた園児は、9名であった。調査日は、2014年12月5日であった。

#### (1)理由を表現する接続詞

ケンが通常用いられているが、カラも散見される。ノデという形式も1回観察された。

- [222] ここは危ないけん、通ったらいけんけん
- [223] ゆうプラザ、温泉があるけんいいよ
- [224] けがしたから
- [225] 転んだから

#### (2)断定を表す文末詞

断定の文末詞はダであった。

- [226] やまんばだった
- [227] 何だったっけ

#### (3)動詞の否定

動詞の否定は、ンが基本的に用いられていたが、テナイは多く見られた。一段動詞の否定にラが挿入されてランという形[231-233]も多く現れた。

- [228] 家に運ばんでも、ちょっとずつ・・・
- [229] あんまり乗れんかった
- [230] そこにバイクが横切るかもせん
- [231] 名前だけん名字つけらんでもいいよ
- [232] 見えらんし
- [233] ここは顔のアップみたいな格好になっとるけん見えらんけど

#### (4)有情の存在

基本的には、オルであった。イルはほとんど見られなかった。

- [234] 神戸にね、犯人がおった
- [235] 子どもがおる、子どもが
- [236] おうちの近くにね、猫がおって、

#### (5)テイル形に相当するアスペクト形式

テオル系で、トル形が多く見られた。否定形ではテナイが多く見られた。トラン形は観察できなかった。また、トライ・トラレル形が普通のアスペクト形式として、頻繁に現れた。

[237] (言い合いをしながら、お互いに)あたしもやっとなよ/やっとなかったよ

[238] 帽子とか言っていない

[239] ○○君とは行っていないわ

[240] ガラスが割れているので

[241] (ア리가)泣いとらい

[242] だっておじいちゃん船持とらいけん、それに乗ったことあるよ

## 4 まとめ

形式の現れ方をまとめると、断定のジャとダでは、ジャは、益田市では現れたが、浜田市に入るとほとんど用いられなくなり、益田市と浜田市が境界であった。そして、ケーとケンは、もう少し東であると考えられるが、浜田市に入ると使用が大幅に減っていたが、江津では、よく用いられていた。このことから、浜田市にケーが使用されなくなる理由がありそうである。理由を表す接続形式にテカラが現れるのは浜田市と江津市のみで、文末詞のデが用いられるのは江津市から大田市にかけてであった。そして文末詞ガは、大田市の市街地域から出雲市で、やはり出雲市との関係が深いことが窺える。そして、トライというアスペクト形式は、出雲

市に入ってから使用され始めた。また、共通語では可能形の否定が使われているところを、「五段動詞+ラレン」で可能の否定を表していた形式も見られたが、それは益田市から大田市まで観察され、石見方言の特徴として考えられた。

これらの言語の形式とその界の関係を、今後、もう少し詳しく見ていくつもりである。

そして、音声資料が採集されたので、今後はアクセントの記述もしていくつもりである。

また、共通語形と方言形の出現差を高橋・山下(2014)で考察したが、そこでは使用基準が明確にならなかった。しかし、今回10カ所の資料を観察してみて、園児たちの思考のプロセスが関わっているのではないかということが推察された。発話する文の長さや、思考を伴って発話する場合は、共通語形が現れやすいのではないかというものである。つまり、園児たちは、教育や読み物のなどをおして、思考する際には、既に共通語形の文章語的なものを使用しているのではないかという仮説である。

今後のこのようなことも視野に入れて、この研究を進めていくつもりである。

## 謝辞

本調査を実施するにあたり、ご協力いただいた保育園・保育所の皆様に、衷心より感謝申し上げます。

### 参考文献

- ・高橋純, 山下由紀恵. 「出雲方言と石見方言の境界域調査」のための予備調査結果の分析とその方法の検討(1). 島根県立大学短期大学部 松江キャンパス研究紀要, 51; 63-72, 2013.
- ・高橋純, 山下由紀恵. 石見地域の幼児の言語につい

ての調査(1). 島根県立大学短期大学部 松江キャンパス研究紀要. 52; 145-150, 2014.

- ・山下由紀恵, 高橋純. 「出雲方言と石見方言の境界域調査」のための予備調査結果の分析とその方法の検討(2). 島根県立大学短期大学部 松江キャンパス研究紀要, 51; 73-76, 2013.

受付:平成27年6月19日 受理:平成27年7月24日






# しまね 地域共生 センター

*Shimane Center  
for Enrichment through Community,  
The University of Shimane  
Junior College*



島根県立大学短期大学部  
松江キャンパス

 文部科学省  
地(知)の拠点